

4月22日 16:00～17:30

於：エルティ（福島）

マキシールーム

## 双葉地方町村と国との意見交換会

### 議事次第

#### 議事

#### 1. 冒頭あいさつ（頭撮りあり）

① 平野復興大臣あいさつ

② 枝野経済産業大臣あいさつ

③ 細野環境大臣・原発事故収束担当大臣あいさつ

#### 2. 国からの説明

①平野復興大臣

②枝野経産大臣

③細野環境大臣・原発事故収束担当大臣

#### 3. 意見交換

#### 4. その他

#### 5. 閉会

（終了後、平野大臣、細野大臣による「ぶら下がり会見」を予定）

## 配付資料

資料 1 「双葉地方としての主な課題（3月10日付け双葉地方町  
村会からの要望）」への回答

資料 2 「原子力災害に係る緊急要望（4月3日付け福島県及び双  
葉地方町村会）」への回答

資料 3 空間線量率の予測

資料 4 中間貯蔵施設について

参考 福島研究開発・産業創造拠点構想について

## 出席者

双葉地方町村：井戸川双葉町長

山田広野町長

草野檜葉町長

遠藤富岡町長

猪狩川内村 副村長

渡辺大熊町長

馬場浪江町長

松本葛尾村長

国：平野復興担当大臣

枝野経済産業大臣

細野環境大臣・原発事故収束担当大臣

松下復興副大臣

吉田復興大臣政務官（福島復興局担当）

福島県：荒竹生活環境部長

【国の事務方出席者】

(復興庁)

峰久事務次官

岡本統括官

伊藤審議官

鉢村審議官

諸橋 福島復興局長

(内閣府原子力被災者生活支援チーム)

菅原 事務局長補佐

(原子力現地対策本部)

富田 審議官

(文部科学省)

大竹 大臣官房審議官 (研究開発局原子力損害賠償対策室長)

(経済産業省)

照井 地域経済産業審議官

守本 資源エネルギー庁電力ガス事業部 参事官

(環境省)

鷺坂 水・大気環境局長

奥主 水環境担当審議官

伊藤 廃棄物・リサイクル対策部長

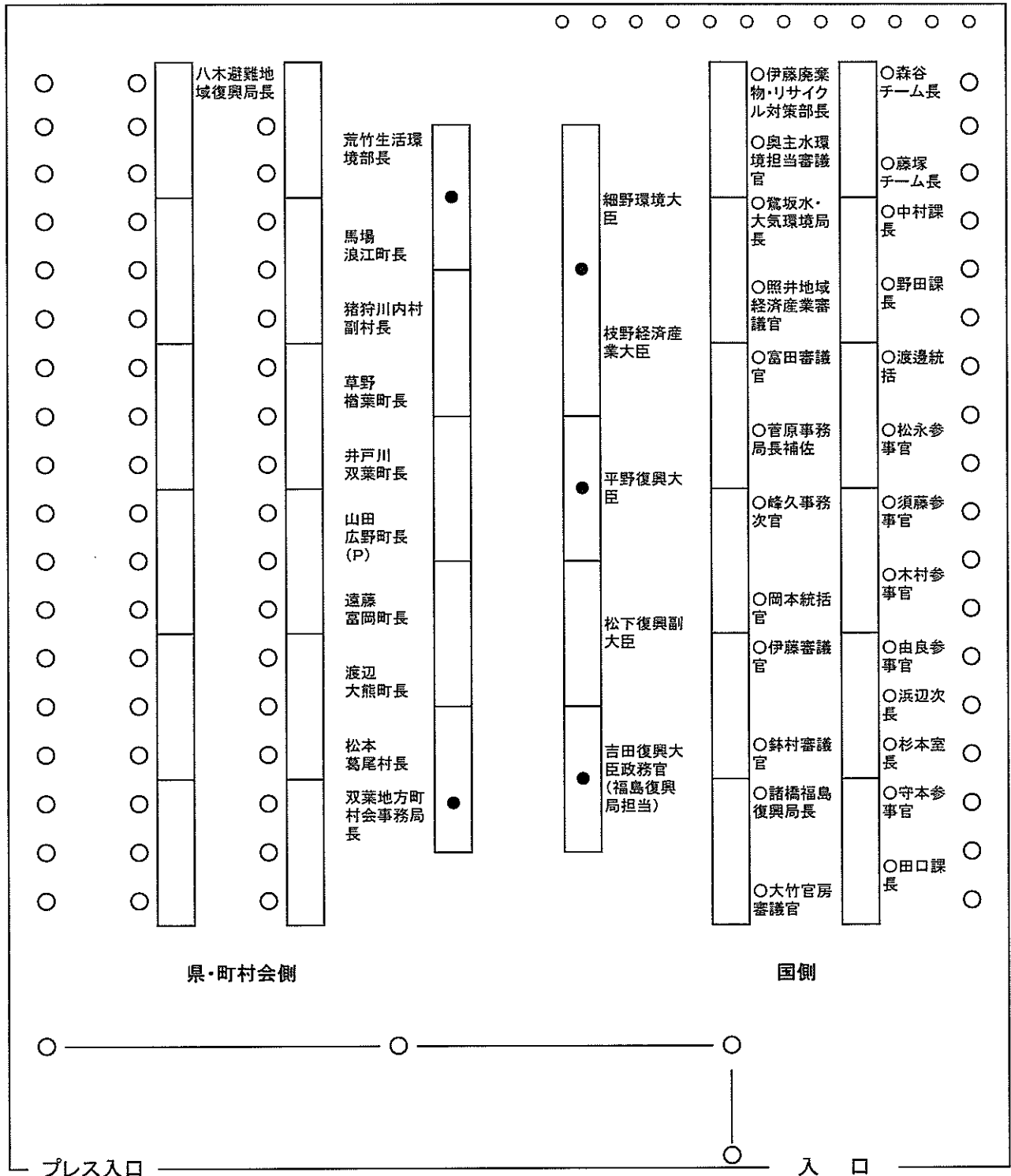
(福島県)

八木避難地域復興局長

# 双葉地方町村と国との意見交換会

日時: 平成24年4月22(日) 16:00~17:30

場所: ウエディングエルティ2階「マキシールーム」



## 双葉地方町村と国との意見交換会 概要（未定稿）

日時：平成24年4月22日（日） 16：40～18：40

場所：エルティ マキシールーム

出席者

### ○双葉郡町村

井戸川双葉町長、山田広野町長、草野檜葉町長、遠藤富岡町長  
猪狩川内副村長、渡辺大熊町長、馬場浪江町長、松本葛尾村長

### ○福島県

荒竹生活環境部長

### ○国

平野復興担当大臣、枝野経済産業大臣、細野環境大臣、  
松下復興副大臣、吉田復興大臣政務官

## < 1. 冒頭挨拶 >

### 【平野復興大臣】

今日は双葉地方町村、福島県と国との意見交換会の開催をお願いいたしましたところ、お忙しいにも関わらず皆様方にお集まりいただきましたこと心から御礼申し上げます。前の福島復興再生協議会の会議が長引きまして、この会議の開催が遅れてしまったことをお詫び申し上げます。

東電福島第一原発事故から1年以上経過していますが、今なお皆様方には本当に大変なご苦勞をおかけしております。昨日、浪江町西のほうから入りまして、大柿ダムから請戸の漁港の方まで視察をさせていただきました。その後、南相馬の方に参りまして、20km圏内の状況を視察させていただきました。その後、まだ当時の被災の状況は生々しく残り、そういう現場を見させていただけましたけれども、復旧復興に向けて今一段気を引き締めて取り掛からなければならないと、そういう気持ちを強くさせていただきました。

3月30日でございますけれども、一部の自治体についての避難指示区域の見直しを実施されたところでもあります。区域見直しの議論に伴いまして、帰還に向けた取り組みにつきまして個別、具体的な課題が浮き上がってきております。

その一方、中長期にわたって避難をお願いせざるをえない区域も明らかになってきております。当区域から避難されている方や、区域を支える自治体

の支援につきましても、福島とも連携を取りながら、国と自治体が一体となって、検討を急ぎたいと思います。

ちなみに支援という言葉につきましても、いかなようなご指摘を受けましたけれども、現段階では支援という言葉を使わせていただきたいと思えます。

本日は、枝野経済産業大臣、細野環境大臣、原発事故収束担当大臣ほか関係政務、関係事務方に参加をしていただいております。皆様のご意見をしっかりと受け止めさせていただきますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げたいと思えます。

今日の会議の主旨でございますけれども、まず枝野大臣から今後の放射線量の推移の予測等をご説明いただくことになっております。また、細野大臣からは中間貯蔵施設関連を中心にお話をさせていただくことになっております。

この会合は、前回の会合、あと4月3日に東京にお越しいただいた際にご要望いただいた双葉郡全体のグランドデザインを検討していくうえでも基本となるものであります。もちろん項目はたくさんありますけれども、その中の重要な要素になるということでございます。皆様方の膝を突き詰めて議論をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申しまして簡単ではございますけれども、冒頭の私のご挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いをいたします。

#### 【枝野経済産業大臣】

経済産業大臣にはいろいろな立場があるが、原子力安全を所管する省として、また東京電力を始め電気事業を所掌する省として、この1年ご苦労ご負担をかけてしていることにお詫び申し上げるとともに、地元のみなさまの取り組みに感謝申し上げます。復興再生という意味では産業政策を振興する立場として、福島の産業振興を本格的にスピードアップしなければならない段階にきていると考えている。事業の再開支援や新産業創出を通じた雇用の創出が被害が大きかった地域に急務であると考えている。

県からの要望を踏まえ企業立地奨励金、再生可能エネルギー産業の活性化に向けた実証事業、医薬品医療機器等の製造開発拠点整備に向けた予算等の措置をしてきているところであるが、順次避難をお願いしていた地域の解除が始まっていることを踏まえながら、実際にそれぞれの地域の事業再開や雇用創出に目に見えてつながっていかねばならないと感じている。またこうした段階を

踏まえて地域地元からの声を聴きながらより強化していかなければならないと考えている。

区域の見直しについてはインフラを始めする復興との関係が非常に大きいことから、復興庁平野大臣を中心に動いていただいているが、原子力災害対策本部の副部長としての経済産業大臣が最終的な線引きの所掌である。県・関係市町村・住民との緊密かつ丁寧な協議調整の中で早期に関係者の合意が得られるよう平野大臣、細野大臣とも連携して最大限の努力していく決意である。これからは福島のリバイバル・復興が進むよういろいろな側面から考えていく。

### 【細野環境大臣】

広野町の役場前に桜が咲いているが、避難している方は故郷の桜も見ることができないことを重く受け止めて、これからは復興に尽くしていきたい。

中間貯蔵施設は除染による土壌を主に貯蔵する場所ということで、負担ばかりが目についてしまうが、研究開発の要素等、様々な面で地域にとってプラスとなる部分もある。これから話し合いを重ねて方向性を出していきたい。

中間貯蔵施設と併せて、帰還、区域見直し、賠償の問題について、ご相談させて頂く重要な会議であると思っているので、この場を無駄にすることのないようにしたい。

(ここでプレス退出。以下、非公開部分)

